



校長のつぶやき

福井市長橋小学校

R 3 . 6 . 2 4

「質問です。校長！『いじめの未然防止』ってどんな取組？」

率直に申し上げますと「いじめを生まない」という発想に立った取組です。

私がこれまでつぶやいてきたいじめへの理解や対応等は、早期発見、早期（初期）対応です。しかし、未然防止とは、いじめを生まない学級・学校風土をつくること、いじめに向かわない子どもをつくることです。ですから、すべての子どもを対象、つまり、長橋小学校では20名の子どもを対象とした取組ということになります。

文部科学省や国立教育政策研究所が全国に広めている取組等は以下のとおりです。

いじめが起きにくい学校風土・学級風土 「居場所づくり」

私たち教職員は、学校・学級が、子どもたちにとって安心できる場であり、自信や充実感、さらには自分の存在価値等を抱ける場にしなければなりません。

いじめに向かわない児童生徒 「絆づくり」

授業や行事など、主体的に取り組む協働（共同）的な活動を通して、すべての子どもたちが活躍でき、「絆」を感じ取ることができるような場面を実現できなければなりません。

「居場所づくり」も「絆づくり」も、パーツとしてではなく、セットで考えるべきだと思います。では、具体的にどんな状態を望むかという一例をお示しします。

ささいな行為があったとしても、いじめなんか燃え上がらない、優しさや思いやりで満ちあふれた子どもたちがいる学級や学校。また、「いじめなんかくだらないよね」と言える（考える）子どもたち、困っている人に手を差し伸べることができる子どもたち。こんな子どもたちや学校です。

長橋小学校でも以下のことに重点を置くよう努めています。

- 人権教育や道徳教育
 - ⇒ 差別をしない子、優しく、思いやりのある子に育つことを願って
- 主体的に学ぶ授業（話し合い活動等） *福井県：「引き出す教育、楽しむ教育」
 - ⇒ 意見を言い合える・聞き合える、お互いを認め合える子に育つことを願って
- 特別活動（学級会や児童会等）、異学年交流活動（清掃や集会等）、地域交流活動
 - ⇒ 主体的な活動を通して、児童が自己有用感等を獲得することを願って

さらに具体的に表現すると・・・。

- ①人の心の痛みがわかる、思いやりのある優しい子に育つこと。
- ②一人一人が自分の思いや考え等を、学級・学校集団の中で堂々と表現することができ、安心して居られる学級・学校であること。
(授業などで、自由に発言等ができ、お互いを認め合える関係 = 授業等における学び合いや支え合い)
- ③他者が自分を必要としていると実感できること。
(他者と関わる楽しさや必要性を感じ、役に立てる喜び等を感じる)
- ④家庭や地域から見守られている大切な存在であると実感できること。
(自身が家庭や地域のスーパーエースであると感じる)

■授業や行事の中で、どの子どもも落ち着ける場所をつくりだす「居場所づくり」

■主体的に取り組む活動を通して、他者から認められ、他者の役に立っているという自己有用感をどの子どもも感じ取れる「絆づくり」

このようなことが実現できれば、いじめ発生のリスクは、極めて低くなります。長橋小学校では、これらの実現に向け、いじめ防止対策を講じています。併せて、「SOSの出し方教育」にも取り組みます。子どもたちにSOSの出し方を教えることは、とても重要であると考えます。辛いときに誰かに相談すること、助けを求めること（援助希求行動）は、危機的状況への対応として必要不可欠です。

本校では、定期的に子どもに対していじめアンケートを実施しています。また、今後は、保護者にもいじめについてのアンケートを実施させていただきます。しかし、お子様のことやお子様のお友だちのこと等で、お気づきのことや気がかりなこと等がありましたら、アンケートの実施を待たずして、いつでも学校にお教えください。

最後になりましたが、先日、私が受講した研修で、ご自身が被差別部落出身である松村智広氏（「みえ人権教育・啓発研究会」代表、元校長）の人権に関する講義を受けました。時間を忘れてしまうほど引きつけられる講義だったのですが、松村先生の講義の締めくりのお言葉がとても印象的でした。一見、当たり前のことのように思える言葉なのですが、私にとって、すごくインパクトがありました。そのお言葉のご紹介をもって、第1号からのいじめについてのつぶやきを閉じます。

【松村智広氏のお言葉】

人権とは何かをしっかりと理解することはとても大切。差別やいじめをなくすことは、簡単なことであり、それはたった二つのこと。

「① されて嫌なことを人にもしない」

「② 他人の幸せを邪魔せず、自分も幸せになる」

※両面文字だらけの校長のつぶやきにお付き合いいただき、ありがとうございました。今回でいじめに関するつぶやきは終了します。次回は、インターネットの利用等に関してつぶやきます。